

研修費明細書 会派名 【日本共産党あきる野市議団】

実施年月日 [] ~ 泊 日] 観察先名 []

旅 費	交通費	交通機関 ※1		乗車区間 ※2		往復	運賃 A 円	特急料金 B 円	計 C= (A+B) 円	人数 人	金額 C×人数 円	領収書 台紙No.
				~								
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
				~		□			0		0	
		※1 交通機関の欄には、JR・私鉄・バス等の区分を記入 ※2 乗車区間の欄には、駅・停留所名等を記入						小 計		0		
	宿泊費	円 × 人数 × 泊数 = 円						小 計		円		
		×	×	=	0					0		
	登録料	×	×	=	0			小 計		0		
		×		=	0					0		
	その他	×		=	0			小 計		0		
		(説明)								0		
								小計 計		0		

内 容	説 明	金額 (円)		領収書 台紙No.
講師謝金			小 計	0
会場費			小 計	0
文書通信費			小 計	0
参加費	第52回「議員」の学校	18,000	小 計	18,000
会費			小 計	0

合計 18,000 円

[特記事項]

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）政務活動費領収書

領収書台紙No.	項目	経費名	支出額	合算
4	研修費	参加費	18,000	

(領収書貼付)

No. 240415-521018

発行日 2024年5月20日

領収書

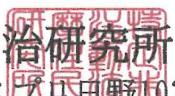
日本共産党あきる野市議団 御中

¥18,000-

但し、第52回「議員の学校」参加費

2024年5月1日 上記正に領収いたしました

特定非営利活動法人 多摩住民自治研究所
〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスブリッジ日野103
TEL042-586-7651 FAX042-514-8096





第52回



議員の学校

●主催 NPO法人多摩住民自治研究所

ハイブリッド[オンライン+会場(最大定員80名)]

「見逃し配信あり」(2024年7月末まで)

●会場:都立多摩図書館セミナールーム
(JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅より徒歩7分) 申込締切:4月30日(火)

■ゲスト講義 講師:鈴木宜弘氏 東京大学大学院特任教授

「日本の食と農をどう守るか」

あと10年したら日本の農業・農家は崩壊しかねません。人が生きていくうえで欠かせない、かつ安全な「食」と、地域の暮らしに深く結びついた「農」をどう守るか。さまざまな取り組みに学びます。

■集中講義 講師:八幡一秀氏 中央大学名誉教授・多摩住民自治研究所理事

「地域社会における中小企業の役割と中小企業振興条例」

地域経済で大多数を占める小規模企業の役割についての基礎と、自治体で作成がすすめられている「中小企業・小規模企業振興条例」について、先進事例から学びます。

■シリーズ講義(2) 講師:石川 満氏 元日本福祉大学教授・多摩住民自治研究所理事

「生活保護制度をつかいやすいものに」

市町村議員に必要な「生活保護制度」の基礎知識と、すべての人が尊厳をもって地域でくらせるよう、市町村は何をすべきかを学びます。

ご期待ください!



第52回議員の学校HP



お申込み



2024
5/8(水)
/9(木)

地域経済と地域産業

{ 地域と住民生活を守るために地域産業循環・市町村の役割 }



「議員の学校」とは 多摩住民自治研究所[多摩研]の「議員の学校」は、「住民と地域に役立つ地方議員になりたい」という議員の皆さんとの声にこたえ、「政党会派を問わずに、だれもが参加できる学校」として始められました。平成21(2009)年のことです。幸いにして、各地の議員の皆さんの積極的なご参加と、協賛された各分野の講師の方々のすぐれた講話によって、かけがえのない歩みを重ねてまいりました。

講師プロフィール

多摩研
第52回

議員の学校



■ゲスト講義 鈴木宜弘(すずき のぶひろ)

1958年三重県生まれ。農林水産省、九州大学大学院教授、東京大学大学院教授を経て、2024年から同特任教授。一般社団法人食糧安全保障推進財団・理事長。農業経済や農業政策について鋭い提言を、テレビを含め様々なフィールドでされています。

■著書『このままでは食える!—食料危機への処方箋「野田モデル」が日本を救う』(2023 日刊現代)、『世界で最初に食えるのは日本—食の安全保障をどう守るか』(2022 講談社)、『農業消滅—農政の失敗がまねく国家存亡の危機』(2021 平凡社)、『協同組合と農業経済—共生システムの経済理論』(2022 東京大学出版会)ほか多数。



■集中講義 八幡一秀(やはた かずひで)

1953年生まれ。2024年3月まで中央大学教授。現在、中央大学名誉教授。専門分野は中小企業論・地域経済論。中小企業の実態をふまえて精緻に理論化する等、現場を重視しながら、海外も含めた中小企業研究をされています。

■論文「自治体による中小企業政策の再考—現代の『是』をもっと広めよう」(『住民と自治』2022年9月号)、「地域再生における中小企業・中小業者の役割と中小企業振興条例」(『月刊全労連』2019年3月)

■著書『現代中小企業の新機軸』(共著 2011 同友館)、『地域振興と中小企業—持続可能な循環型地域づくり』(2010 ミネルヴァ書房)、『現代日本の中小商工業—国際比較と政策編』(2000 新日本出版社)、『21世紀に向かって“まいどおおきに”—西新道錦会商店街の挑戦』(1999 自治体研究社)ほか多数。



■シリーズ講義(2) 石川 満(いしかわ みつる)

1951年東京都生まれ、東大和市職員(通算21年間福祉事務所に勤務)を経て、1999年日本福祉大学社会福祉学部助教授、2004年教授。福祉行政論など、2017年定年退職。多摩住民自治研究所理事、社会福祉法人えいぶる理事長など。

■著書『いのちを選ばないで』(共編著 大月書店 2019年)、『生きたかった—相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの』(共編著 大月書店 2016年)ほか。



■実践報告と提言 堂前利昭(どうまえ としあき)

1970年石川県能登町生まれ。1990年より金沢の老舗造園会社で修行し、2000年に能登で造園業を起業し、能登にしかない樹木を国内外へ普及する活動をしています。2018年より能登町議会議員を4年4ヶ月務め、2023年には石川県議会議員に就任。「奥能登」と石川県のパイプ役として、住民との対話を大切に能登の課題や難題に取り組む活動をされています。NPO法人のとキリシマツツジの郷理事。多摩住民自治研究所会員。

program & fee

プログラム & 料金

【会場・オンライン同一価格】

●部分参加(1講義あたり)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員 13,000円
- ・上記以外 9,000円

●全参加(3講義+実践報告)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員 37,000円
 - ・市議会議員 25,000円
 - ・町村議会議員 15,000円
 - ・多摩住民自治研究所会員(議員) 22,000円
- *市民 1講座:1,000円 全参加:3,000円

◆第1日 5月8日(水)

- 12:50~13:00 開会のあいさつ、ガイダンス
- 13:00~15:00 ゲスト講義(講義100分、質疑応答20分)
- 15:00~15:10 休憩(10分)
- 15:10~16:10 実践報告と提言(報告40分、質疑応答20分)
- 16:10~16:20 休憩(10分)
- 16:20~17:30 グループワーク(準備10分、前半30分、後半30分)
- 17:30~17:40 連絡事項、写真撮影(10分)
- 18:00 交流会

◆第2日 5月9日(木)

- 9:55~10:00 ガイダンス
- 10:00~12:00 シリーズ講義(2)(講義100分、質疑応答20分)
- 12:00~13:00 お昼休み(60分)
- 13:00~15:00 集中講義(講義100分、質疑応答20分)
- 15:00~15:10 休憩(10分)
- 15:10~16:10 全体にわたる質疑応答(60分)
- 16:10~16:20 閉会のあいさつ、連絡事項等(10分)

第 1018 号



第 52 回
多摩研・議員の学校修了証

たばた あずみ 様

あなたは当研究所が主催した第 52 回
議員の学校の課程を修了されました。
地方自治の発展のために さらに尽力
されますよう期待いたします。

2024 年 5 月 8 日・9 日

NPO 法人多摩住民自治研究所
理事長 荒井文昭